

プログラム④

ちぐはぐなメッセージ

ねらい

- 表情・言葉・しぐさには関連性があることを知る。
- 相手に自分の気持ちを伝えるためには、表情・言葉・しぐさの3要素の組み合わせが大切であることを実感する。

| | | | | | |
|------|-----|------|------------|------|-----|
| 実施時間 | 60分 | 対象学年 | 小学校5年生～中学生 | 実施人数 | 20人 |
|------|-----|------|------------|------|-----|

| 時間 | 進行・ポイント等 | トークシナリオ(例) |
|-----------|--|--|
| 導入 19分 | 1.講師あいさつを行う。 | |
| | 1) プログラム開始のあいさつや担当講師の自己紹介を行う。(2分) ①担当講師の自己紹介や、プログラムの概要の提示などを行い、参加者が緊張せずに楽しんで取り組めるよう働きかける。 | 皆さんこんにちは。私の名前は〇〇です。 普段は●●●●をしています、今日はこのプログラムの講師を担当します。よろしくお願いします。 今日のプログラムは教科書を使わずに、皆さんには体を使ってワークをしてもらいます。普段の授業とは違いますが、緊張せずに、楽しくワークをしましょうね。 |
| | 2.楽しく喜怒哀楽を表す表情をつくることで、参加意欲を高める。 | |
| | 1)気持ち(感情)を表情で表すことにチャレンジさせる。(17分) 準備物 ・感情カード ・セリフカード ・ポーズカード ワーク ①5人の参加者に前に出てきてもらい、感情カードとセリフカードを1枚ずつ手渡す。 ※カードはランダムに渡し、ほかの人には見えないように自分だけで確認することを伝える。 ②アイスブレイク【I】「表情とセリフ」 i)カードに書いてある感情を表す表情をつくらせながら、与えられたセリフを言わせる。 ii)参加者全員にどんな感情を表現しているかを、発言させる。 iii)最後に感情カードを、参加者全員に向けて提示させる。 | さっそくですが、今からゲームをしたいと思います。 誰か5人手伝ってくれる人？ (挙手を求め、手が挙がらなければ講師が5人を指名する) 手伝ってくれる5人は前に出てきてください。 では、この2枚のカードをほかの人には見えないように自分だけで確認してください。 感情カードとセリフカードを手渡す 今5人の方に渡したカードのうち、1枚には気持ちを表す言葉が書いてあります。 気持ちを表す言葉にはどんな言葉があるか言える人？ (悲しい、うれしい、楽しいなど、参加者から3つ程度例をあげさせる) そうですね。 そしてもう1枚にはセリフが書いてあります。 今から5人には、カードに書いてあるセリフを言いながらカードに書いてある気持ちを表情で順番に表してもらいます。 それぞれどんな気持ちを表しているのか、当ててください。 では、どうぞ。 1人目に表情をつくらせながらセリフを言わせる どんな気持ちを表していると思いますか？ (参加者に自由に発言させた後、3人程度を指名して発表させる) 皆さんの予想は当たっているでしょうか。 答えをどうぞ。カードを見せて、どんな気持ちを表現していたのか発表してください。 |

| 時間 | 進行・ポイント等 | トークシナリオ(例) |
|----|---|---|
| | | <p>感情カードを参加者全員に提示させる</p> <p>どうですか？ 予想は当たってましたか？ (参加者からの反応を待ち、一言コメントをする)</p> <p>では、次の人に挑戦してもらいましょう。 どうぞ！</p> <p>2人目に表情をつくらせながらセリフを言わせる</p> <p>(3人目・4人目・5人目も繰り返す)</p> <p>なかなか正確に気持ちを読み取ることができませんね。 (伝えたい気持ちを参加者が正確に読み取っていた場合には「皆さん気持ちを表すのが上手ですね」などのコメントをする)</p> <p>表情をつくってくれた人はやってみてどのように感じましたか？ (2人程度に答えさせる)</p> <p>5人の方、ありがとうございました。</p> <p>それでは、もう少しゲームを続けたいので、先ほど手伝ってくれた人とは別に2人、手伝ってくれる人、前に出てきてください。</p> <p>感情カード、セリフカード、ポーズカードを手渡す</p> <p>今度はカードを3種類に増やします。1枚には気持ちを表す言葉が書いてあり、1枚にはセリフが書いてあります。そして追加された1枚にはポーズが書いてあります。伝えたい気持ちと、セリフとポーズの3つが与えられていますが伝えたい気持ちを伝えることはできるのでしょうか。</p> <p>皆さんはカードにどんな気持ちが書いてあるのか、2人の表情を見て、先ほどと同じようにその気持ちを当ててください！ では、お願いします。</p> <p>1人目に表情をつくらせながらセリフを言わせポーズをとらせる</p> <p>どうですか？ 伝えたいのはどんな気持ちでしょう。 (参加者に自由に発言させる)</p> <p>では答えをお願いします。</p> <p>当たっていましたね～(難しかったですね)。</p> <p>次の人お願いします。</p> <p>2人目に表情をつくらせながらセリフを言わせポーズをとらせる</p> <p>伝えたい気持ちはどんな気持ちでしょう？ (参加者に自由に発言させる)</p> <p>では答えをお願いします。</p> <p>表情をつくってくれた人は、やってみてどのように感じましたか？</p> |
| | <p>③別の2人の参加者に前に出てきてもらい、感情カードとセリフカードとポーズカードを1枚ずつ手渡す。 ※カードはランダムに渡し、ほかの人には見えないように自分だけが確認することを伝える。</p> <p>④アイスブレイク【Ⅱ】「表情とセリフとポーズ」 i)カードに書いてある感情を表す表情をつくらせ、与えられたポーズで与えられたセリフを言わせる。 ii)参加者全員にどんな感情を表現しているかを、発言させる。 iii)最後に感情カードを、参加者全員に向けて提示させる。</p> <p>※感情と表情が合致しづらい参加者がいても否定はせず、楽しく実施させる。</p> | |

| 時間 | 進行・ポイント等 | トークシナリオ(例) |
|-----------------|---|---|
| 導入 19分 続き | ⑤それぞれどんなことを感じたかを参加者全員に考えさせ、発表させる。 | 答えてくれた皆さんは、表情から気持ちを想像するということをしてみてどのように感じましたか？ |
| | ⑥表情だけでは、感情を的確に伝えられないことがあることを伝える。 | <div>感じたことを考えさせ発表させる</div> <p>なるほど。</p> <p>気持ちを伝えるために、今自分ができたことは、表情をつくることだけで、後のセリフやポーズは与えられたものでした。表情をつくり、セリフを言い、ポーズもとってもらいましたが、表情から気持ちが読み取れることもあれば全く違った気持ちを読み取ってしまうこともありましたね。うまく伝えることができなかった、それには何か原因があるはずです。</p> <p>今からグループで、皆さんも同じワークに挑戦してみましょう。どうすれば気持ちを伝えることができるのか、皆さんが使った表情、セリフ、ポーズの3つの関係性を考えながらワークを進めてください。</p> |
| 展開 39分 | 3.気持ちを伝えるためには、ふさわしい表情・セリフ・態度のすべてが重要な要素であることに気づかせる。 | |
| | <p>1) グループワークを通して、表情・セリフ・態度の関連性に気づかせる。(39分)</p> <div>準備物</div> <ul style="list-style-type: none">・感情カード・セリフカード・ポーズカード・ワークシート <p>※カードは配付前に種類ごとにクリップで止めるなどしておく。配付時やワーク時にスムーズである。</p> <div>ワーク</div> <p>①ワークの説明をする。</p> <p>②リーダーに3枚の選んだカードに書かれてある条件で表現させる。</p> <p>③グループのメンバーに、どのような感情が発信されているのかを予想させる。</p> <p>④メンバーにカードの内容を提示させる。</p> | <p>ではここから、グループでのワークを始めます。各グループに感情カード、セリフカード、ポーズカードの3種類のカードと、グループのメンバー、1人に1枚ずつのワークシートはありますか？</p> <p>それではワークの説明をします。</p> <p>まず、感情カード、セリフカード、ポーズカードの3種類のカードをそれぞれ文字が見えないように下を向けておきましょう。それぞれが何のカードかわかるように、その近くにカードの表紙を置いてください。</p> <p>置けたら上から1枚ずつリーダーをスタートとして左回りにカードをとっていきましょう。カードはほかのメンバーに見えないように自分だけで確認してくださいね。</p> <p>確認が済んだら、リーダーからスタートをしましょう。リーダーは与えられたセリフとポーズを使って、与えられた気持ちを伝えられるよう、表情を工夫してつくってみましょう。</p> <div>リーダーに表情をつくらせる</div> <p>さあ、皆さん、リーダーがどんな気持ちを伝えたいのか考えてみましょう。</p> <div>伝えたい感情を想像させてグループ内で発言させる</div> <p>どうですか？</p> <p>ではリーダー答えをお願いします。</p> <p>リーダーは自分の伝えたい気持ちをメンバーに伝えることができていましたか？メンバーはリーダーの表情からリーダーの伝えたい気持ちをスムーズに読み取ることはできましたか？</p> |

| 時間 | 進行・ポイント等 | トークシナリオ(例) |
|-----------------|---|--|
| 展開 39分 続き | <p>⑤全員に1人1回は上記の活動に挑戦させる。(20分)</p> <ul style="list-style-type: none"> i) 3種類のカードから1枚ずつひく。 ii) ひいたカードで1人が表現する。 iii) グループで、伝えたかった気持ちを予想する。 <p>⑨ワークを通しての感想や気づいたことを、ワークシートに記入させ、グループ内で発表させる。(10分)</p> <p>⑩グループのリーダーに、グループでまとめたことを発表させる。(3分)</p> | <p>では、左隣の人をお願いします。 ここからはリーダーのリードで、1人1回は挑戦できるように進めてくださいね。 時間は20分あります。 何回も挑戦したい人は、いろんなカードの組み合わせで挑戦してみてください。</p> <p style="text-align: center;">グループで1人ずつワークをさせる</p> <p>では20分経ちました。 皆さん、伝えたい気持ちをスムーズに伝えることはできましたか？</p> <p>では、ワークを終えて気づいたことや感じたことをワークシート①「ワークをふりかえって、気づいたことや感じたことを自由に書いてみよう」の欄に2分で書いてみましょう。</p> <p style="text-align: center;">感想を記入させる</p> <p>書けましたか？</p> <p>それでは、気づいたことや感じたことを、グループで話し合ってください。時間は8分です。グループで話し合った結果は、後で発表してもらうので、この時間に発表することをまとめておいてくださいね。</p> <p style="text-align: center;">グループで共有させる</p> <p>それではリーダーに発表をしてもらいましょう。 リーダーは起立してください。 このグループからお願いします。</p> <p style="text-align: center;">全体で共有させる</p> <p>ありがとうございました。 皆さん気づいたことや感じたことがそれぞれにあったようです。</p> <p>気持ちを伝えるためには、表情は大切です。 しかし、表情だけでは気持ちを伝えることができず、そのときに言うセリフやとる態度も気持ちに合わせる必要があるということです。</p> |
| まとめ 2分 | <p>4.表情とセリフと態度には関連性があることを伝える。</p> <p>1) 相手に気持ちを伝えるときは、それにふさわしい表情とセリフが必要であることを伝える。</p> <p>2) 相手に自分の気持ちを伝えたいときには、ふさわしい表情とセリフと態度を組み合わせることが必要であることを伝える。</p> | <p>自分の伝えたい気持ちはできるだけ正確に伝えたいものですね。</p> <p>ケンカした友達にごめんねの気持ちを伝えたいとき、困っているときに助けてくれた友達にありがとうを伝えたいときなど、誰かに自分の気持ちを伝えたいときは、その気持ちにふさわしい表情とセリフ、そして態度を適切に組み合わせると、より正確に伝えることができるんですね。</p> <p>大切な場面で後悔をしないために、ふさわしい言葉と態度を組み合わせ、より正確に自分の気持ちを伝えることに気をつけてみてください。</p> <p>今日はこれで終わります。 ありがとうございました。</p> |

活動におけるワンポイントアドバイス

1

表情をうまく表現できなくてもかまいません。

- ・楽しい学びの時間を提供することが大切です。表情をつくることではなく、表情の必要性を考えることをグループのメンバーに促し、表情をうまく作れない参加者が劣等感を抱かないように配慮しましょう。

2

ワークを進める速さに気を配りましょう。

- ・ワークの手順を理解できないグループが出てこないためにも、ワークの説明の速度に気をつけましょう。全体をよく見渡ししながら、ゆっくり、各工程を確認し進行することを心がけましょう。

3

参加者に無理に活動させる必要はありません。

- ・表情をつくる活動では、1人1回の参加を促していますが、嫌がる参加者に無理にさせる必要はありません。全員が楽しんで参加できることを重視しましょう。